

第2章 城端線・氷見線沿線地域を取り巻く状況

2.1 城端線・氷見線沿線地域の概況

(1) 城端線・氷見線の位置

富山県西部地域を南北に運行する城端線・氷見線は、高岡市、氷見市、砺波市、南砺市を結ぶ路線であり、両線ともに西日本旅客鉄道（JR 西日本）が所有・運営する。

城端線は、高岡駅（高岡市）を起点とし、北陸新幹線と交差する新高岡駅（高岡市）や砺波駅（砺波市）等を経由し城端駅（南砺市）に至る路線総延長が 29.9km、全線単線で非電化の路線である。高岡駅を含め 14 の駅がある。

氷見線は、高岡駅を起点とし氷見駅（氷見市）に至る路線総延長が 16.5km、全線単線で非電化の路線である。高岡駅を含め 8 の駅がある。

両線は高岡駅で接続するが、城端線・氷見線間にはあいの風とやま鉄道及び貨物線の線路があり、また相互直通運転が出来ない線路構造となっているため、高岡駅構内での乗換えが必要となる。ただし、観光列車「ベル・モンターニュ・エ・メール号（愛称：べるもんた）」の一部運行路線において、高岡駅構内をスイッチバックすることで城端線・氷見線間の直通運転を実現している（平成 29 年 3 月現在）。

(2) 北陸新幹線の開業と「新高岡駅」の新設

平成 27 年 3 月 14 日の北陸新幹線開業に合わせ、北陸新幹線「新高岡駅」に隣接する城端線「新高岡駅」が新設され、新幹線開業と同日から供用開始されている。城端線の高岡駅―二塚駅間のほぼ中間に位置し、ホームは改札の無い 1 面 1 線で、車両の行き違いはできない構造となっている。

新高岡駅は、高岡駅や高岡市の中心部から南へ 1.5km 程の地点に位置し、周囲には大規模小売店や住宅地が形成されているほか、市街化区域と市街化調整区域の境界付近に位置しており、南側には田園地帯が広がっている。

新高岡駅北口には送迎用の交通広場と駐車場、駅南口にはバスやタクシーなど、公共交通利用者の駅前広場と、多数の平面・立体駐車場が整備されている。

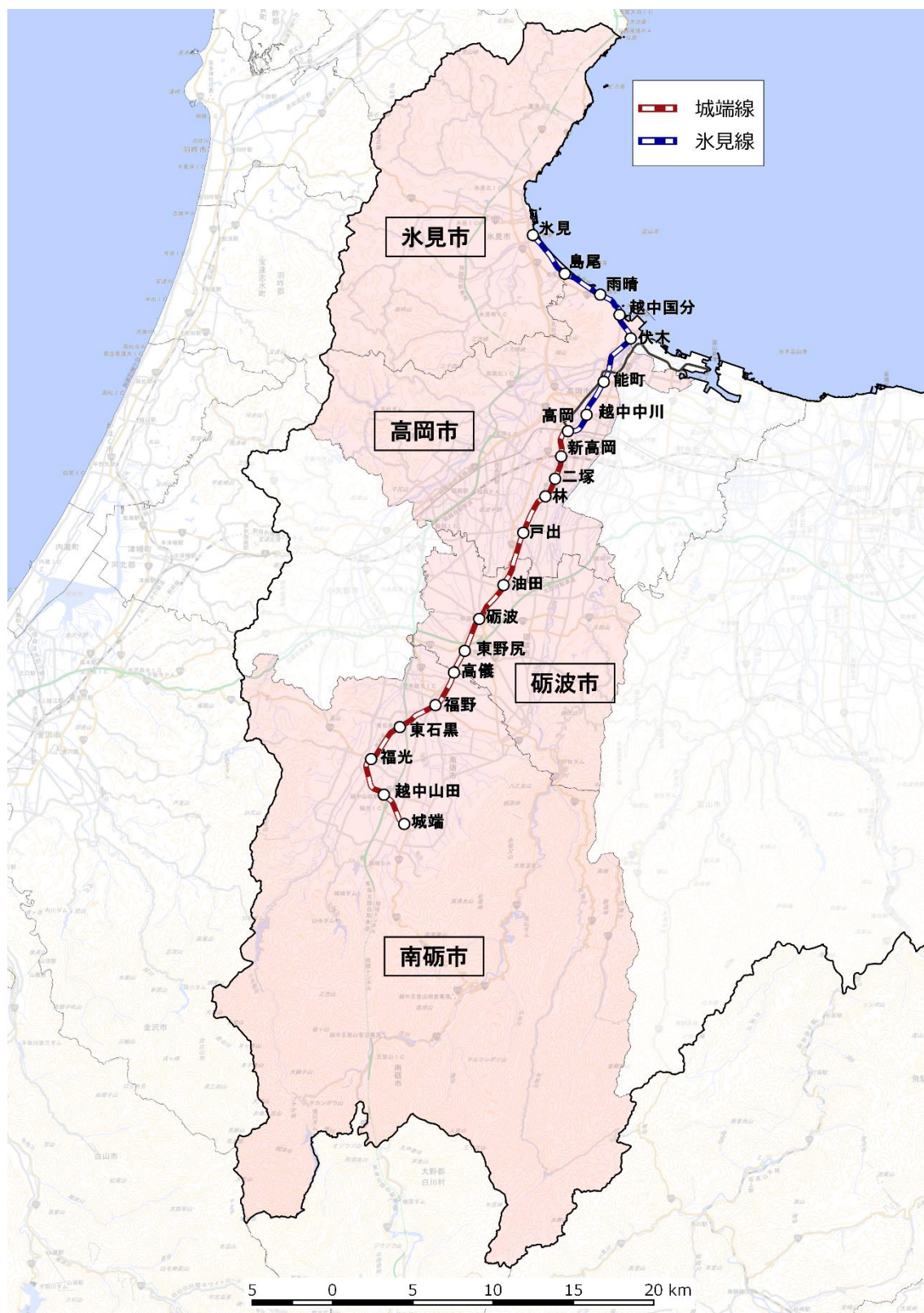


図 城端線・氷見線の位置

2.2 上位計画及びその他の計画

沿線4市における上位・関連計画を整理する。城端線・氷見線に関連する主な施策及び計画の目標指標は次のとおり位置づけられている。

(1) 総合計画

① 高岡市総合基本構想(高岡市総合計画第3次基本計画)

- ◆まちの将来像：「豊かな自然と歴史・文化につつまれ 人と人がつながる 市民創造都市 高岡」
- ◆計画期間：基本構想 平成29年度～平成38年度 / 第3次基本計画 平成29年度～平成33年度
- ◆施策の主な内容

【交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている】

・高岡駅・新高岡駅の周辺整備

新高岡駅から高岡駅を経て中心市街地に至る都心軸を中心に高次都市機能の集約を図るとともに、アクセス機能の強化を図ります。

・高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備

大都市圏及び地方都市との交流や経済活動を活性化させる高速交通網の整備を促進します。また、能越自動車道に新たなインターチェンジの設置を目指します。

高速交通網とアクセスし、都市交通の骨格となる幹線道路網の整備を促進するとともに、あいの風とやま鉄道、城端・氷見線及び万葉線やコミュニティバスなどの公共交通網や交通機関相互の結節性を活かして、広域的な拠点としての交通ネットワークの充実を図ります。

② 氷見市総合計画(第8次氷見市総合計画前期基本計画)

- ◆目指す都市像：「人 自然 食を未来につなぐ交流都市 ひみ」
- ◆計画期間：基本構想 平成24年度～平成33年度 / 前期基本計画 平成24年度～平成28年度
- ◆施策の主な内容

【暮らしづくり 『利便性の高い生活基盤の整備』】

・地域交通の確保 — 公共交通の活性化

・バス事業者や鉄道事業者と連携しながら、生活路線バスやJR氷見線の利便性を高め、利用の促進に努めます。

・「公共交通の利用促進」「JR氷見線と氷見駅周辺の活性化」JR城端線との直通化の調査・研究

【元気づくり 『競争力の高い魅力ある観光都市の形成』】

・戦略的な観光振興 — 受入れ体制の整備

・観光客が市内で楽しく快適に過ごせるよう、観光案内や観光メニュー、交通機関など、利便性や快適性を高める受入基盤を整備し、観光客の満足度向上を図ります。

・「交通機関の利便性の向上」JR氷見線の活性化や周遊バスの導入等による二次交通の整備

③ 砺波市総合計画(第2次砺波市総合計画 基本計画(前期))

- ◆市の将来像：～ 庄川と散居が織りなす花と緑のまち ～ 「もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ “やっぱり砺波”」
- ◆計画期間：平成 29 年度～平成 38 年度 / 基本計画（前期） 平成 29 年度～平成 33 年度
- ◆施策の主な内容

【みらいに活力をつなげるまちづくり】

- ・ 主要施策：生活基盤の充実 個別施策：公共交通の充実
 - ・ 市民が利用しやすい公共交通網の整備促進を図るとともに、県や関係自治体、その他関係団体等と連携し、JR城端線、北陸新幹線及びあいの風とやま鉄道の利用促進を図ります。
 - ・ 市営バスについて、様々な意見の聴取や調査等を行ったうえで、運行路線、区域、ダイヤ等の見直しやデマンド型交通の調査を進め、地域の実情に合ったコミュニティバスとして市民が利用しやすい運行に努め、さらなる利用促進につなげます。
 - ・ JR城端線の利用促進とマイレール意識の高揚を図るため、市内イベントとのタイアップ企画や利用促進団体の活動支援を行うとともに、様々な広報媒体を活用したPR活動に努めます。
- ・ 主要施策：観光の振興 個別施策：観光情報発信・受入体制の充実
 - ・ イベント等に合わせた城端線臨時列車の運行や砺波と金沢を結ぶバスの利便性の向上について関係機関や交通事業者と働きかけるとともに、県や観光事業者との連携を図り、観光タクシーやコンベンションタクシーなど二次交通の充実に努めます。
 - ・ 砺波駅とイベント会場を結ぶシャトルバスを運行させるなど、観光客の利便性を高めるほか、二次交通等のあり方や支援について検討します。
 - ・ 城端線利用者に市内イベントなどで使用できる割引券を配布することにより、公共交通を利用した誘客を促進するほか、観光列車「べるもんた」を活用し観光ガイドの案内や観光PRを行います。

④ 南砺市総合計画(南砺市総合計画後期基本計画)

- ◆市の将来構想：「さがけて 緑の里から 世界へ」
- ◆計画期間：基本構想 平成 19 年度～平成 31 年度 / 後期基本計画 平成 24 年度～平成 31 年度
- ◆施策の主な内容

【安全で快適なまちづくり 『道路網の整備と公共交通環境の充実』】

- ・ 施策中分類：公共交通利用対策の推進
 - ・ 生活路線バスなど公共交通サービスの維持改善対策
 - ・ 利便性を考慮した広域バス、市営バスなどの運行推進
 - ・ 利用促進のための広報啓発活動の推進
 - ・ 北陸新幹線開業を活かした公共交通体系の検討
 - ・ なんバスで暮らそう事業
 - ・ 南砺金沢線バス運行事業
- ・ 施策中分類：JR城端線活性化の推進
 - ・ イベント開催等による利用促進策の検討
 - ・ 駅周辺の環境整備による利便性の向上
 - ・ JR城端線駅舎Wi-Fi整備事業
 - ・ JR城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画の推進

【いきいきとした活力あるまちづくり 『豊富な地域資源を活かした観光の振興』】

- ・施策中分類：観光客受け入れ態勢の強化
- ・交通アクセスなどの利便性向上
- ・二次交通対策「なんタク」事業の推進による利便性向上

(2) 都市計画マスタープラン

① 高岡市都市計画マスタープラン

- ◆将来都市像：「生き生き市民都市 高岡」
- ◆計画期間：平成 17 年度～平成 32 年度
- ◆基本方針

- ・公共交通については、大都市圏や地方主要都市との交流・連携を促進する広域交通手段として、また、交通渋滞の緩和に資する都市内交通手段であり、日常生活に密着した移動手段として積極的な活用を図る。
- ・鉄道については、広域公共交通として、鉄道の高速化を図るとともに北陸新幹線の整備を促進する。また、鉄道駅のバリアフリー化促進や乗り換え利便性の向上を図るとともに、JR 駅のパーク&ライド、サイクル&ライドの推進を図る。

② 氷見市都市計画マスタープラン

- ◆将来都市像：「人と自然がなごむ交流都市ひみ」
- ◆計画期間：平成 16 年度～平成 37 年度
- ◆基本方針

- ・交通軸：市内において生活圏を結ぶ道路（及びバス路線）、鉄道を交通軸として位置付ける。
- ・海沿いの軸：JR 氷見線、国道 160 号、県道氷見港停車場線、環状南線、市道海岸線等

③ 砺波市都市計画マスタープラン

- ◆将来都市像：「庄川と散居に広がる 健康フラワー都市」
- ◆計画期間：平成 21 年度～平成 40 年度
- ◆将来都市構造

- ・広域的都市構造
- ・公共交通は JR 城端線を公共交通連絡軸とし、広域公共交通連絡軸となる北陸新幹線や北陸本線と結ぶとともに、JR 氷見線との直通について調査研究します。

④ 南砺市都市計画マスタープラン

- ◆将来都市像：「豊かな自然と文化と人を繋ぐ多核ネットワーク都市」
- ◆計画期間：平成 21 年度～平成 40 年度
- ◆基本方針

- ・環境負荷の少ない多彩でコンパクトな市街地形成
- ・市民の移動ニーズに合わせた公共交通の活用促進
- ・安全・安心を高める都市づくり
- ・パーク&ライド等の交通乗り換え機能の整備

◆将来都市構造

- ・都市連携軸
- ・福野、福光、城端地域と砺波市、高岡市方面に連絡（北陸新幹線に連絡）する JR 城端線を都市連携軸として位置づけ、他の交通手段との連携を図り市民の安全な移動手段とします。

(3) 公共交通関連計画

① 高岡市総合交通戦略

- ◆戦略の理念：「公共交通からまちを変える アクティブ交流拠点都市 高岡を目指して」
- ◆計画期間：平成26年度～平成35年度
- ◆基本方針

- ・都市の成長を高める広域交通体系の構築
- ・大都市圏、飛越能地域、県西部地域それぞれとの交通軸の強化や、広域交通拠点としての環境充実を図る

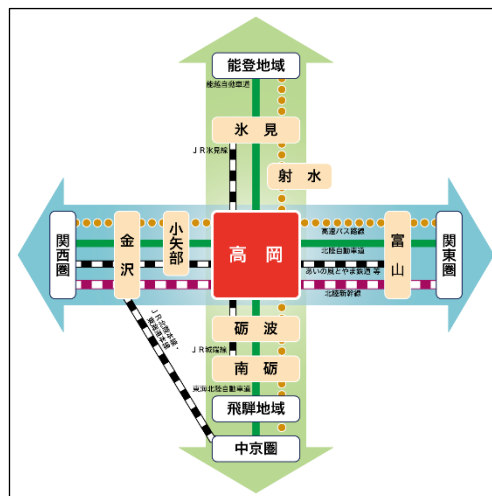


図 広域交通体系のイメージ

② 高岡市あいの風とやま鉄道地域公共交通網形成計画

- ◆計画期間：平成27年度～平成31年度
- ◆計画が目指す公共交通網のイメージ

- ・城端線
 - ・地域を支える骨格路線と豊富な観光資源の活用及び新幹線との接続を強化する城端線
- ・氷見線
 - ・沿線住民の生活と豊富な観光資源の活用を支える氷見線

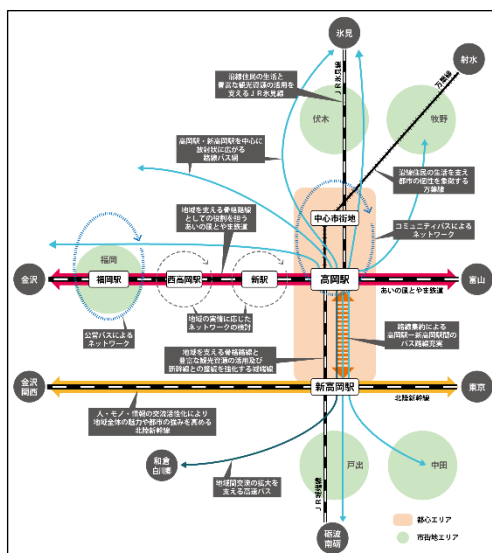


図 計画が目指す公共交通網のイメージ

（４） 地方版総合戦略

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各市では地方版総合戦略が策定され、まち・ひと・しごとに関連した公共交通に関する施策と重要業績評価指標（KPI）が位置づけられている。

① 「未来高岡」総合戦略（高岡市）

◆計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度

◆基本目標と具体的施策

- ・基本目標 魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる
- ・具体的施策 11 広域観光の推進
 - ・北陸新幹線開業による観光振興の効果を持続させるため、新高岡駅を拠点に飛越能地域や富山県西部地域などとの連携を強化し広域観光を推進する。

② “となみ創生”まちづくり総合戦略（砺波市）

◆計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度

◆基本目標と具体的施策

- ・基本目標 ふるさとの魅力を発信し、人を呼び込む・呼び戻す活力あるまちづくり
- ・具体的施策 おもてなし力・観光客への利便性の向上
 - ・ JR 城端線の最寄り駅から観光地を結ぶ二次交通体系の充実を図り、観光客の利便性の向上を図る。
 - ・観光用のフリーの W i - F i スポットを設置し、インターネットによる情報発信や情報収集を行う観光客の利便性の向上を図る。
- ・基本目標 砺波らしい生活環境を守り育て、すべての世代が安心して暮らせる地域づくり
- ・具体的施策 生活基盤の整備
 - ・市民が利用しやすい公共交通網の整備促進を図るとともに、北陸新幹線、あいの風とやま鉄道および JR 城端線の活用について、県や関係市町村、関係団体等と連携し利用促進を図る。

③ 氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（氷見市）

◆計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度

◆基本目標と具体的施策

- ・基本目標 暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計
- ・施策 集落構造に応じた交通手段の開発と支援
 - ・人口減少と少子高齢化が加速化する中で、市民の「移動の権利」を確保する観点から地域と地域を結ぶ交通手段について新たな地域公共交通システムの構築を視野に整備を進めていきます。

④ 南砺幸せなまちづくり創生総合戦略（南砺市）

◆計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度

◆基本目標と具体的施策

- ・基本目標 暮らしやすさを実感できる地域の創造
- ・施策 JR 城端線駅舎 Wi-Fi 整備事業
 - ・ JR 城端線の福野駅、福光駅、城端駅の待合所で、Wi-Fi が利用できる環境を整える。利便性向上による城端線の利用者増加と観光誘客の拡大へつなげる。

2.3 城端線・氷見線沿線地域の状況

(1) 沿線の人口

① 市町村別人口と世帯数

国勢調査（平成27年値）に基づく4市の人口や世帯数を見る。

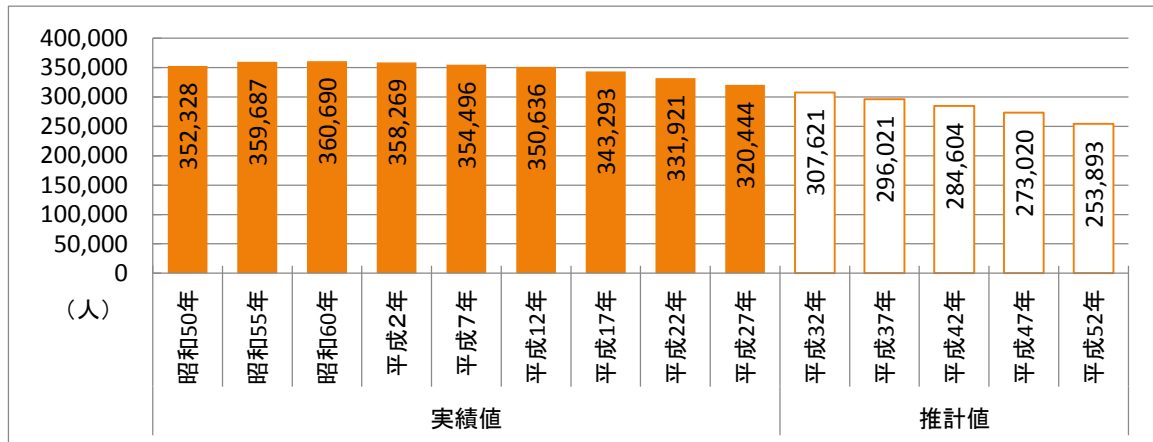
- ・人口は高岡市 172,125 人、氷見市 47,992 人、砺波市 49,000 人、南砺市 51,327 人であり、4市合計で 320,444 人。富山県全体人口 1,066,328 人に占める4市合計人口の割合は約 30.1%となっている。
- ・人口密度は、高岡市 821.2 人/km²、氷見市 208.1 人/km²、砺波市 385.8 人/km²、南砺市 76.8 人/km²であり、4市合計で 259.5 人/km²。富山県全体 251.2 人/km²をやや上回っている。
- ・5年間（平成22年－平成27年国勢調査）の増減を見ると、各市ともに人口が減少している。世帯数では、富山県全体や4市合計では増加傾向にあるものの、氷見市、南砺市では減少している。

市町村名	総数	男	女	世帯数	1世帯 当たり 人員	面積	人口 密度	H22～H27 の人口増減		人口 構成比(県)
								人口	世帯	
	人	人	人	世帯	人/世帯	km ²	人/km ²	上段:人 下段:%	上段:世帯 下段:%	%
県合計	1,066,328	515,147	551,181	391,171	2.73	4247.6	251.0	△26,919	7,732	100.0
								△2.46	2.02	
4市合計	320,444	153,775	166,669	112,724	2.84	1235.8	259.3	△11,477	1,785	30.1
								△3.46	1.58	
高岡市	172,125	82,802	89,323	63,814	2.70	209.6	821.2	△3,936	1,822	16.1
								△2.23	2.94	
氷見市	47,992	22,769	25,223	16,096	2.98	230.6	208.1	△3,734	△362	4.5
								△7.22	△2.20	
砺波市	49,000	23,781	25,219	16,220	3.02	127.0	385.	△410	661	4.6
								△0.83	4.25	
南砺市	51,327	24,423	26,904	16,594	3.09	668.6	76.8	△3,397	△336	4.8
								△6.21	△1.98	

出典 平成22年国勢調査、平成27年国勢調査

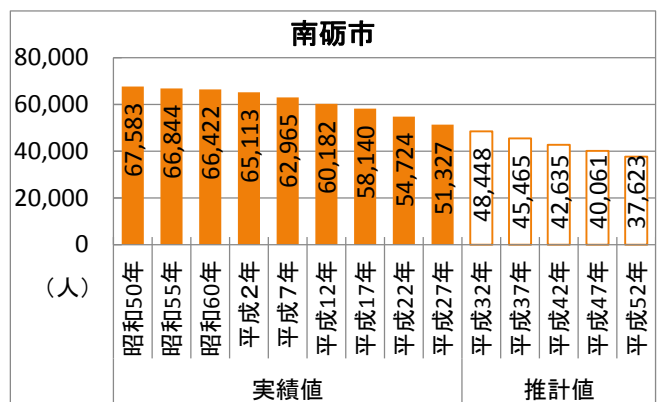
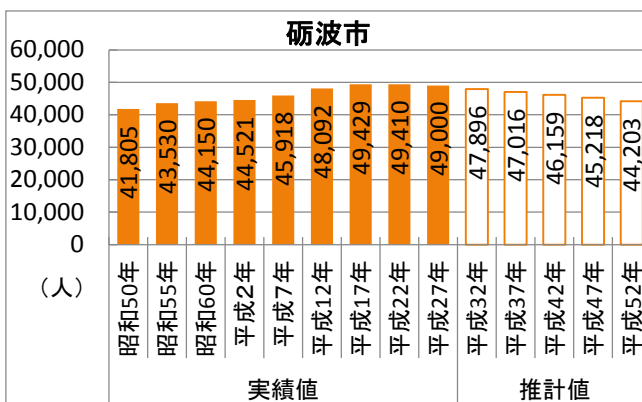
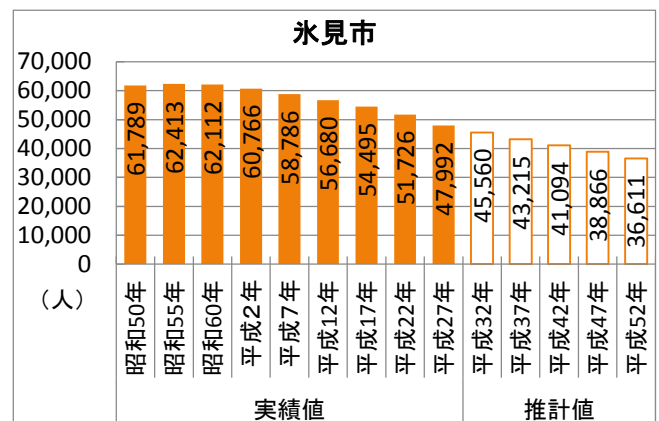
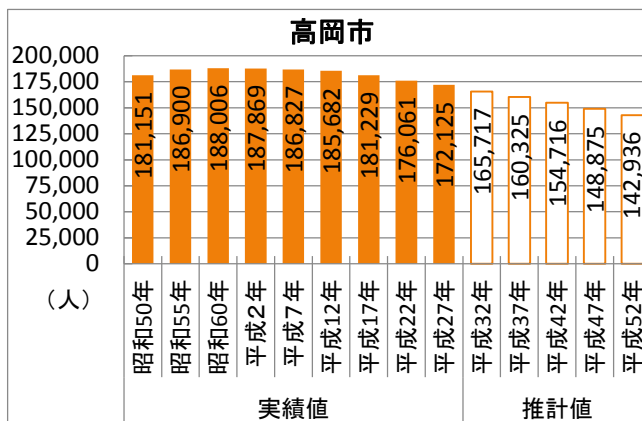
② 沿線4市の総人口推移

- ・ 4市の合計人口は、昭和60年の360,690人をピークに減少傾向にある。
- ・ 各市の人口ビジョンにおける将来目標人口では、平成52年の4市合計人口は253,893人となり、平成27年からの25年間で、20.8%の減少が見込まれる。



4市の合計人口推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)

- ・ 高岡市、氷見市、南砺市の総人口は減少傾向にある。
- ・ 砺波市は平成17年から平成22年にかけてピークを迎え、平成27年は減少している。今後総人口の減少が予想されている。



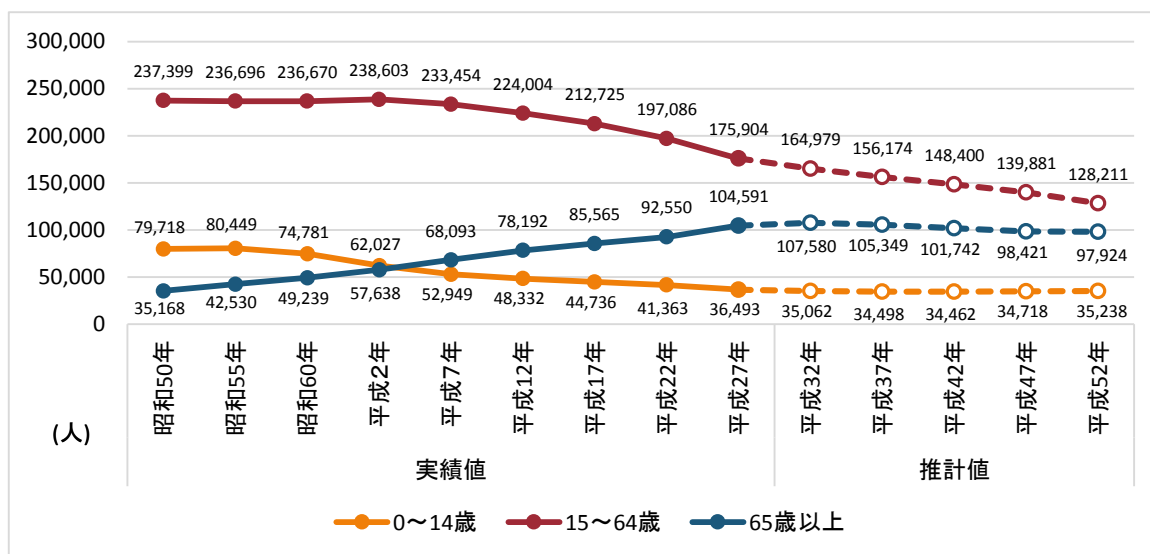
各市の総人口推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)

(2) 年齢3区別の人口推移と人口構成

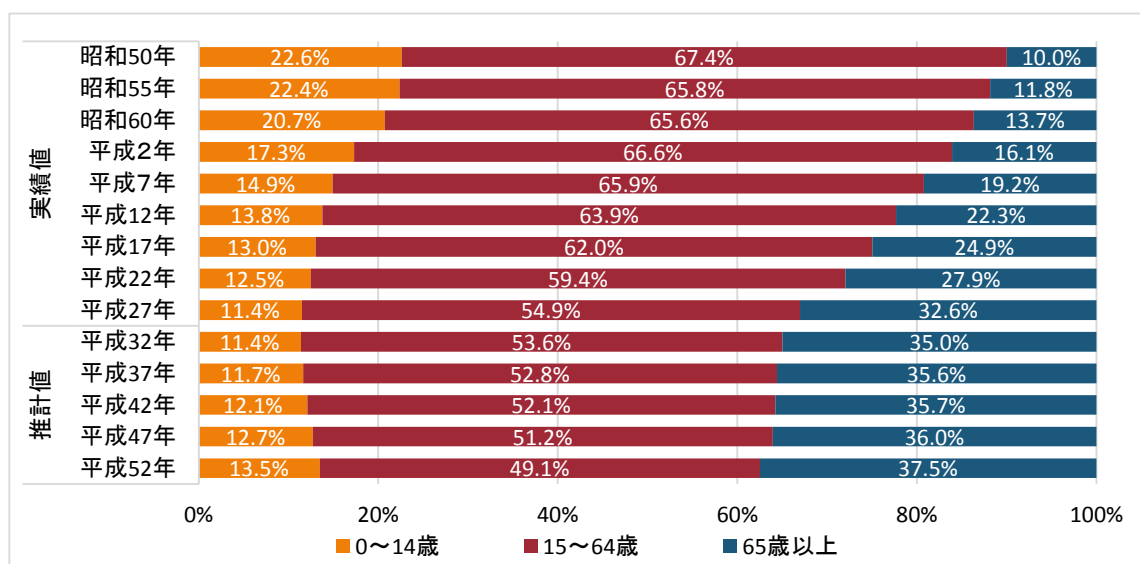
① 4市の合計

年齢3区別の人口推移及び人口構成比について、4市の合計をみる。

- ・4市の合計では、0～14歳の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口が継続して減少傾向にある一方、65歳以上の老年人口は平成27年度以降10万人前後で推移すると推計されている。
- ・年少人口と老年人口それぞれの合計は平成2年以降に逆転し、平成52年の時点では老年人口が年少人口の約2.7倍になると推計されている。
- ・構成比をみると、65歳以上の高齢化率が一貫して上昇する見込みとなっており、平成27年に30%を超え、平成52年には約37.5%になると推計されている。一方で0～14歳の年少人口は、今後も10%台の前半で推移すると推計されている。



4市の合計 年齢3区別人口推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)

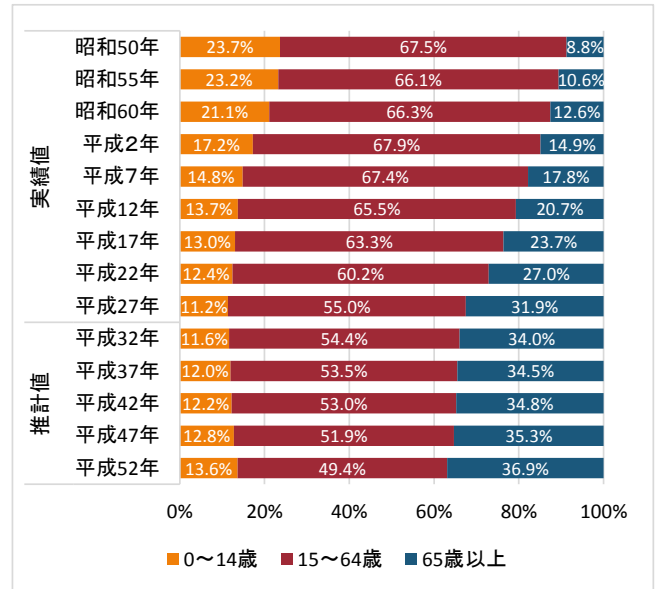
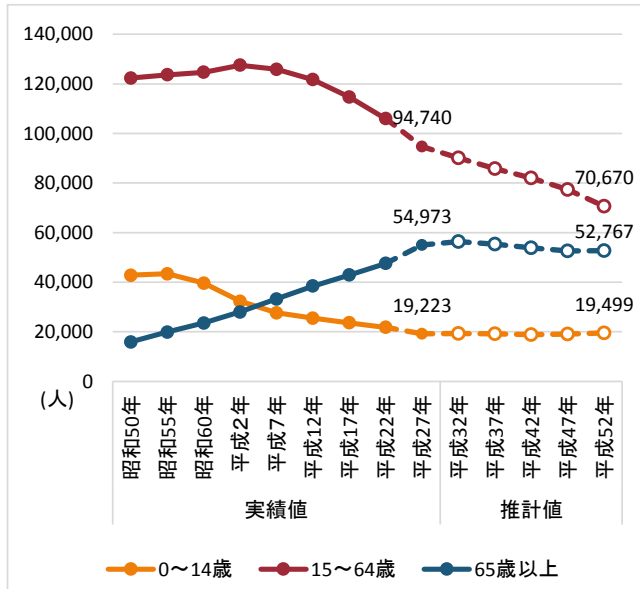


4市の合計 年齢3区別人口構成比推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)

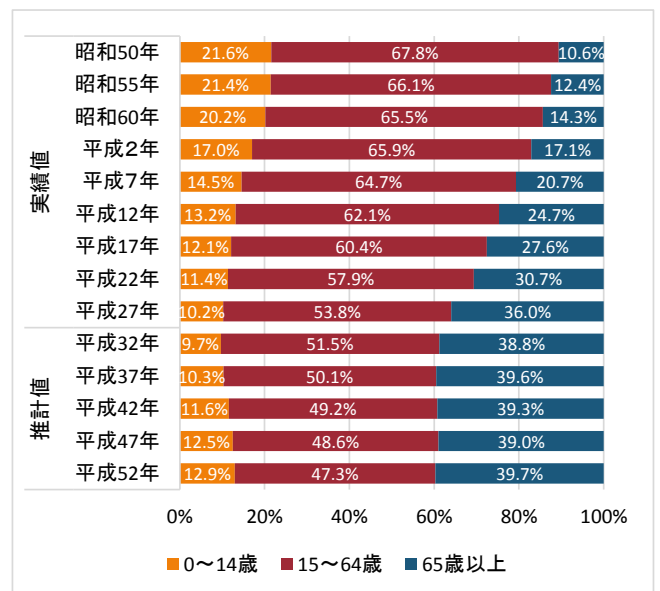
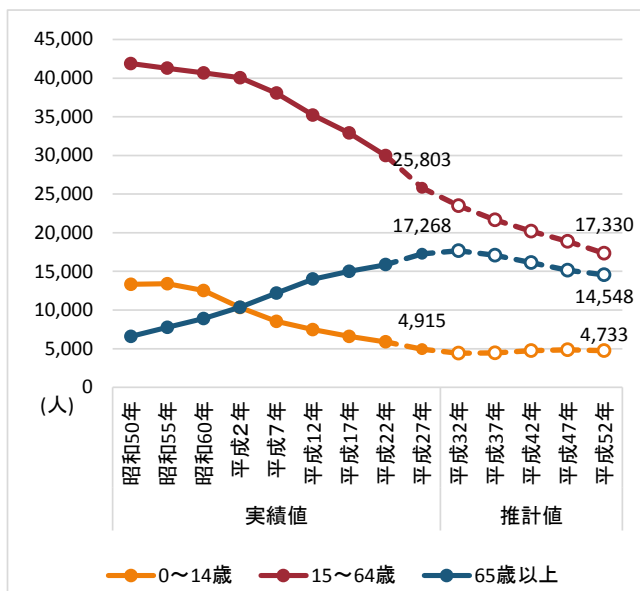
② 各市の個別の状況

年齢3区分別の人口推移及び人口構成比について、各市の状況を見る。

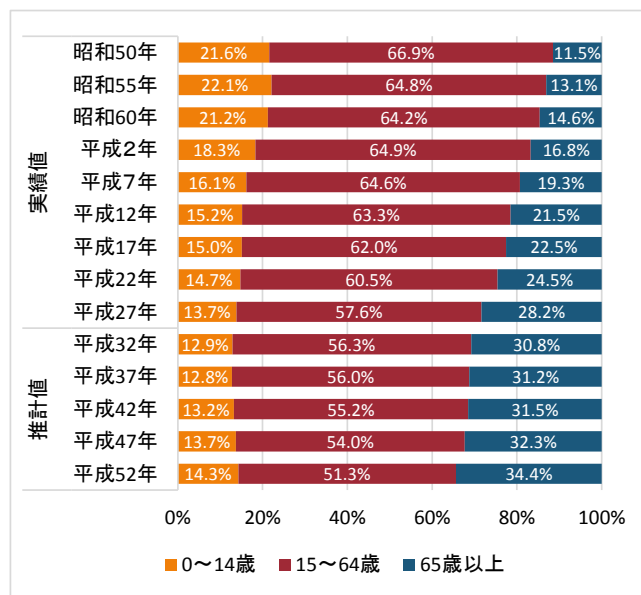
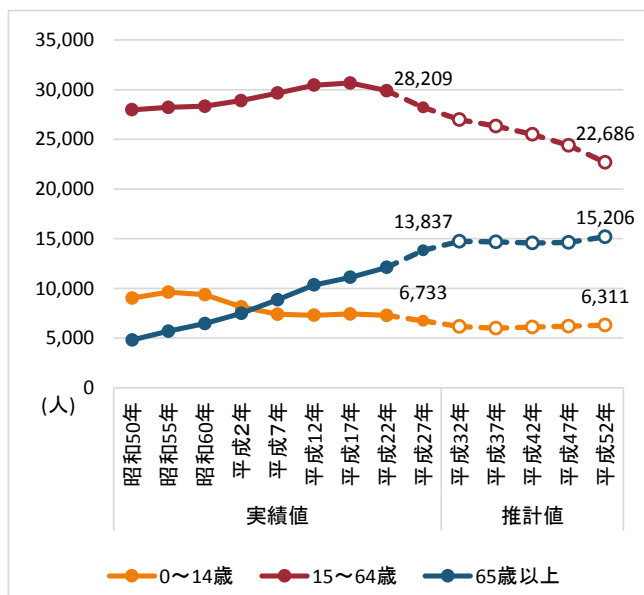
- ・各市とも増減の比率に差はあるものの、0～14歳の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口が減少傾向、65歳以上の老年人口が増加あるいは一定水準を保つ傾向となっている。
- ・65歳以上の老年人口の将来推計値は、平成52年では、高岡市36.9%、氷見市39.7%、砺波市34.4%、南砺市40.9%となっている。



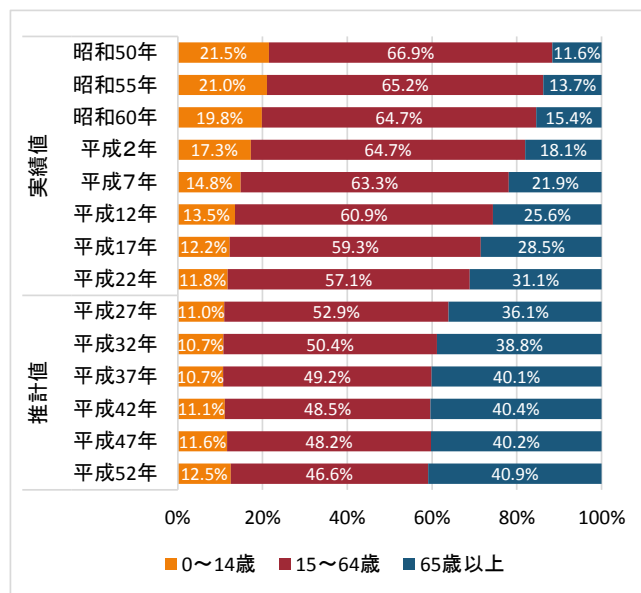
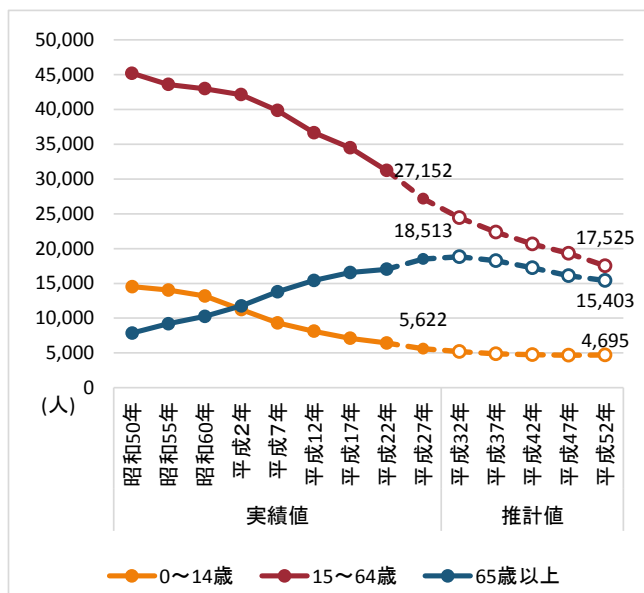
高岡市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)



氷見市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)



砺波市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)



南砺市の年齢3区分別人口推移及び構成比推移
(出典 実績値:国勢調査 推計値:各市人口ビジョン)

(3) 人口の分布

- ・城端線・氷見線の沿線に、比較的人口が集積している。
- ・高岡市、氷見市には都市的地域の広がりを出す指標であるDID（人口集中地区）が形成されている。
- ・氷見市、高岡市、南砺市の山間部は低密な地域が広がっている。

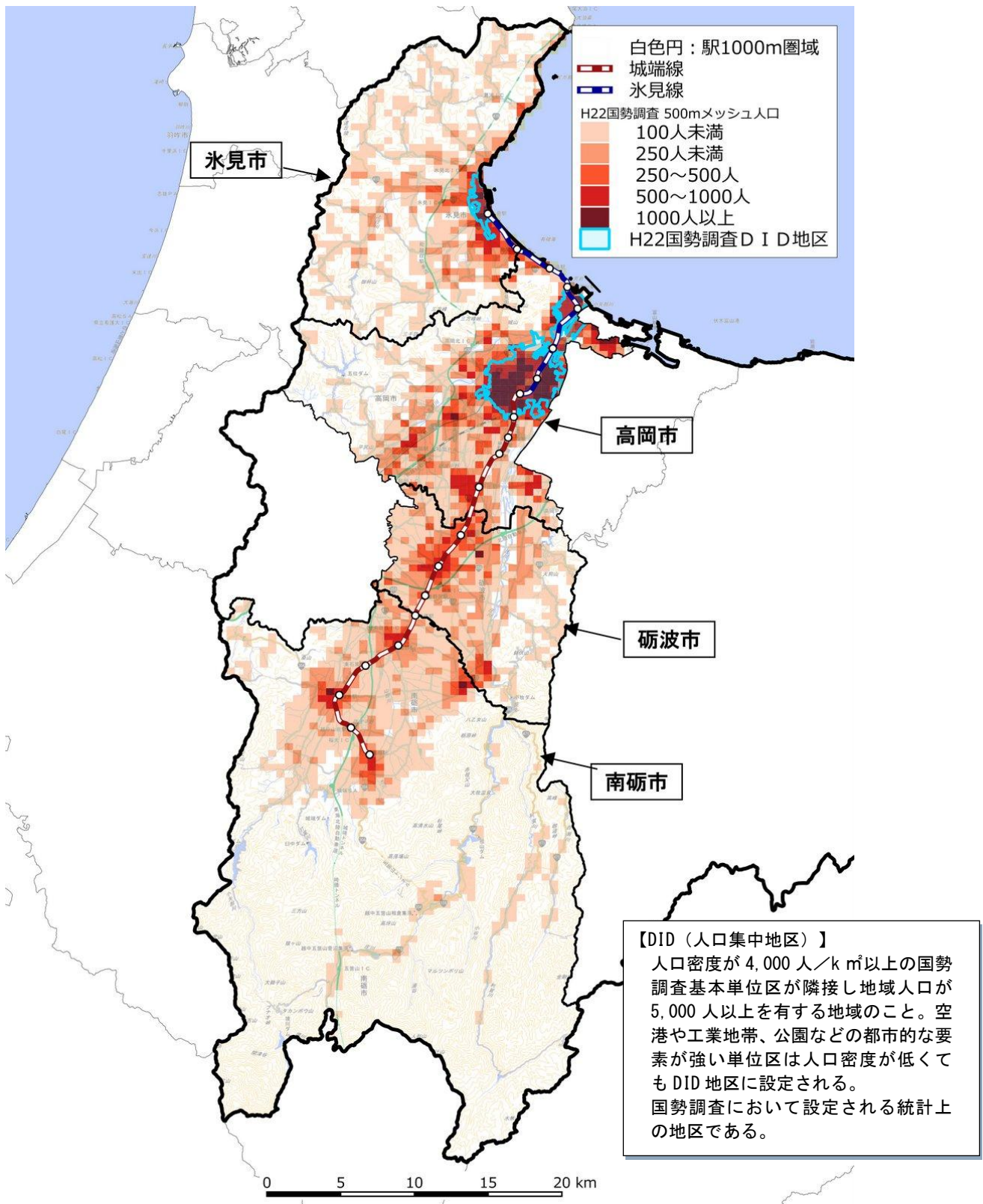


図 平成22年国勢調査 500mメッシュ人口分布状況
 （出典 平成22年国勢調査 メッシュ統計情報）

(4) 地区別年齢3区分別人口の分布

地区別に年齢3区分別人口及び総人口の分布状況を見る。

- ・総人口では、城端線・氷見線沿線の鉄道駅周辺及び、自動車の利便性が高い幹線道路沿い等に人口が集積している状況がみられる。
- ・年齢3区分別にみると、0～14歳人口は総数が少なく、外縁部の密度が下がる。他の年代に比べてより狭い範囲に集積しており、城端線・氷見線やあいの風とやま鉄道等の鉄道沿線に集積する傾向が強まる。15～64歳人口及び65歳以上人口は城端線・氷見線沿線の鉄道駅周辺及び幹線道路沿い等に集積している。

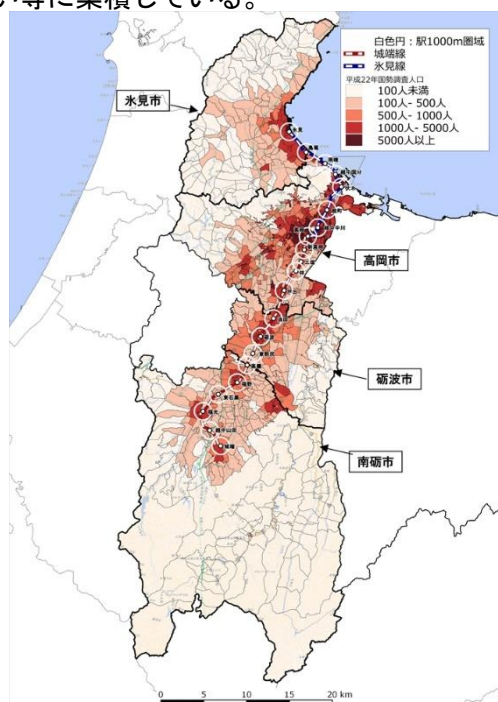


図 平成22年国勢調査 1km²あたり人口密度
(出典 平成22年国勢調査)

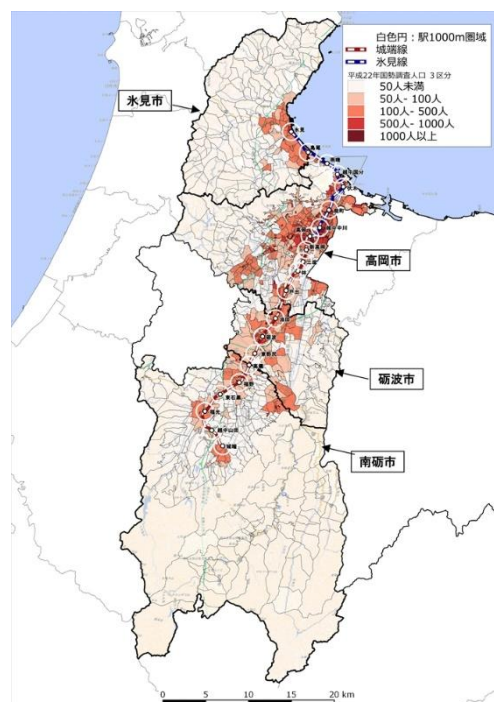


図 平成22年国勢調査 1km²あたり人口密度 0～14歳
(出典 平成22年国勢調査)

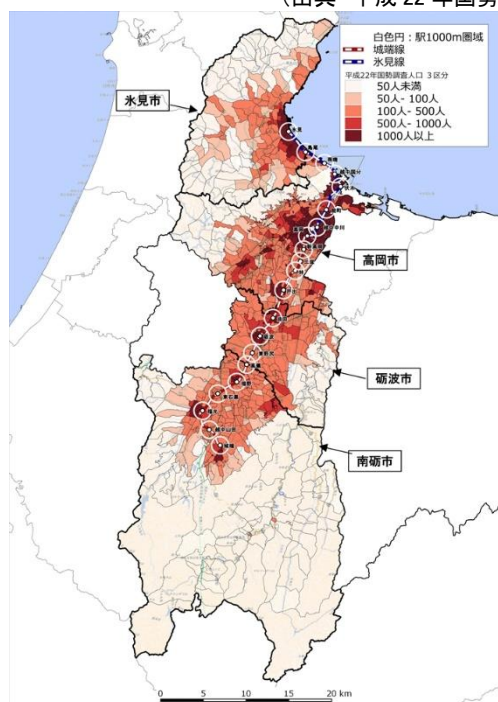


図 平成22年国勢調査 1km²あたり人口密度 15～64歳
(出典 平成22年国勢調査)

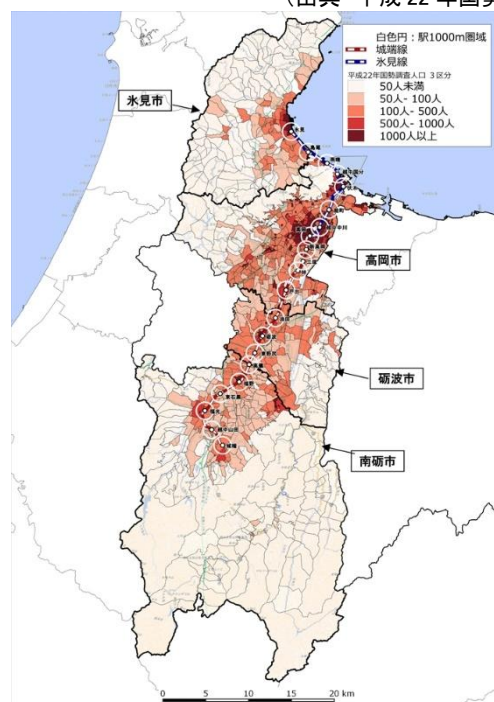


図 平成22年国勢調査 1km²あたり人口密度 65歳以上
(出典 平成22年国勢調査)

(5) 沿線地域の高齢化の状況

- ・地域別の高齢化率をみると、各市の沿線拠点駅の周辺市街地や、外縁部・山間部で高齢化率が高い傾向にある。

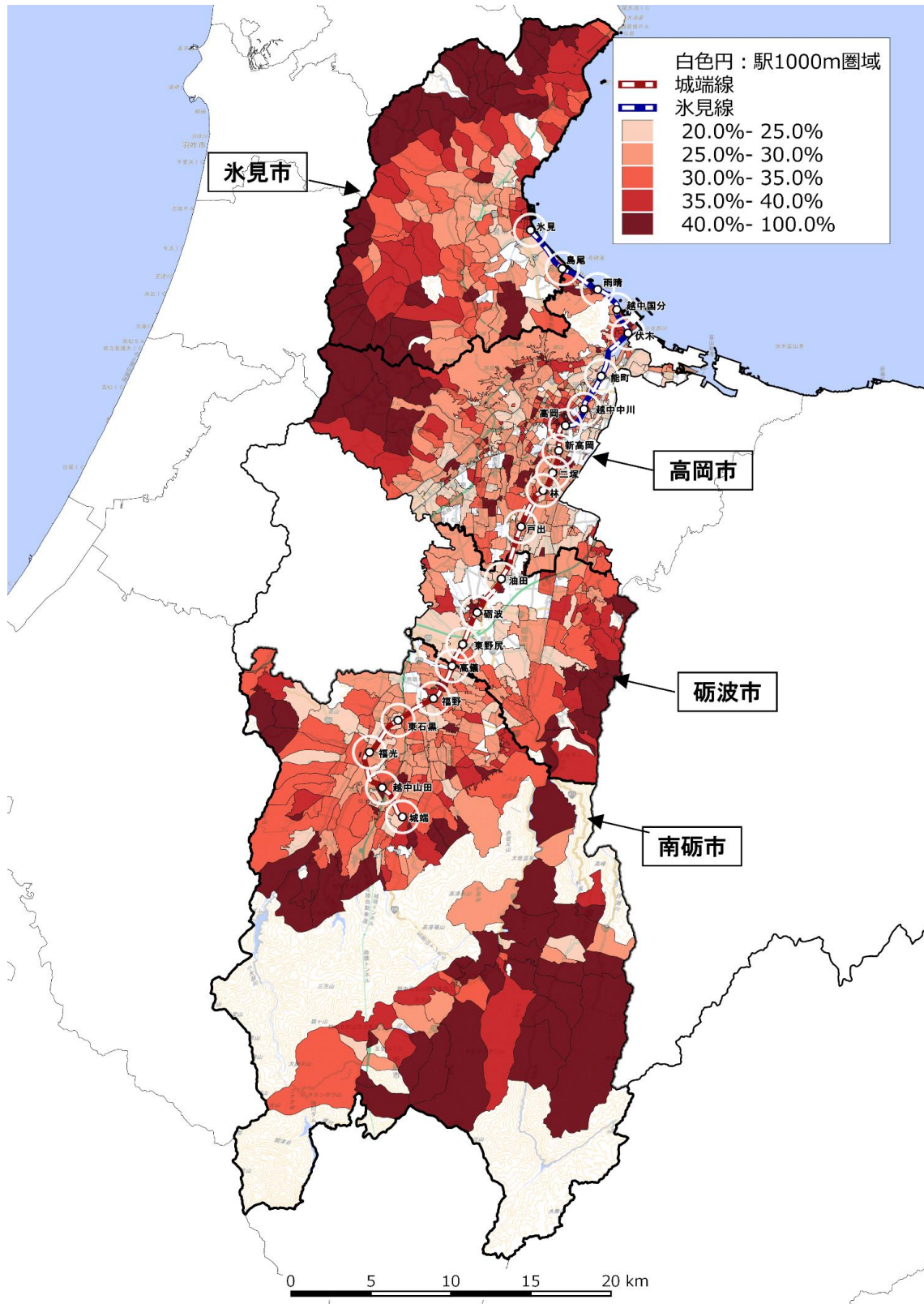


図 平成22年国勢調査 小地域別高齢化率
 (出典 平成22年国勢調査)

(6) 各種拠点・施設の分布状況

① 観光拠点

- ・城端線・氷見線沿線には、各市の歴史や文化を反映した観光拠点が数多く立地している。ただし、沿線に位置しているものの、駅から離れたところにある観光拠点も多く点在している。
- ・世界遺産である五箇山の合掌造り集落やひみ番屋街など、城端線・氷見線沿線から離れたところに位置する集客力のある観光拠点も存在する。
- ・平成28年12月に、新たに「高岡御車山祭の御車山行事」と「城端神明宮祭の曳山行事」がユネスコの無形文化遺産登録を受けた。国内外からの旅行者の今後の更なる増加が期待される。



図 主な観光拠点の分布

② 医療施設

- ・ 4市に整備されている病院 30 施設の内、城端線・氷見線沿線各駅から半径 2 km 以内に立地する駅は 13 施設である。他 17 施設は鉄道駅から離れたところに立地する。

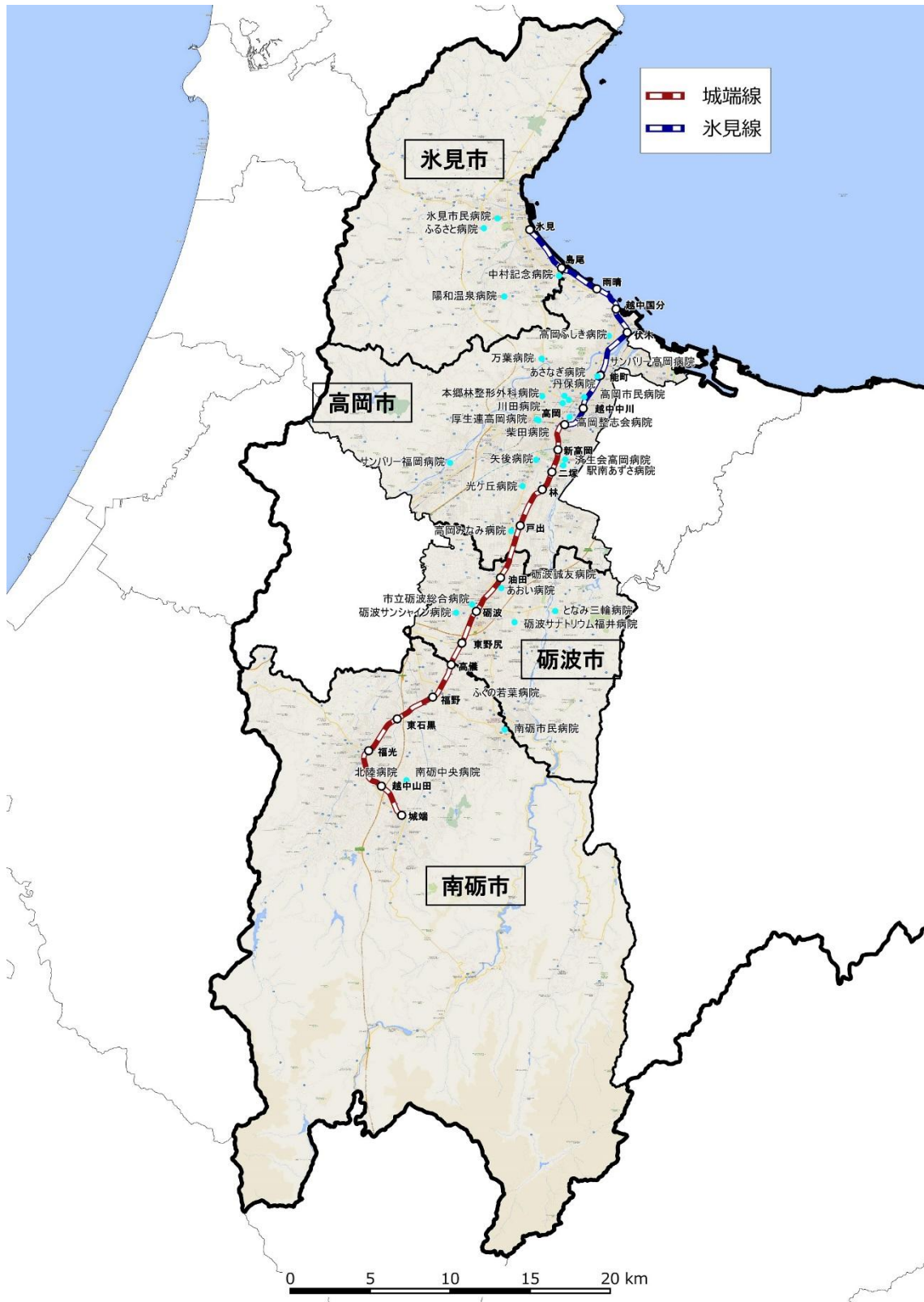


図 医療施設(病院)の分布

③ 大規模小売施設

- ・沿線4市の大規模小売施設33施設のうち、城端線・氷見線沿線各駅から半径2 km以内に立地する駅は11施設である。自動車での利便性が高い幹線道路沿いに立地している施設が多い。

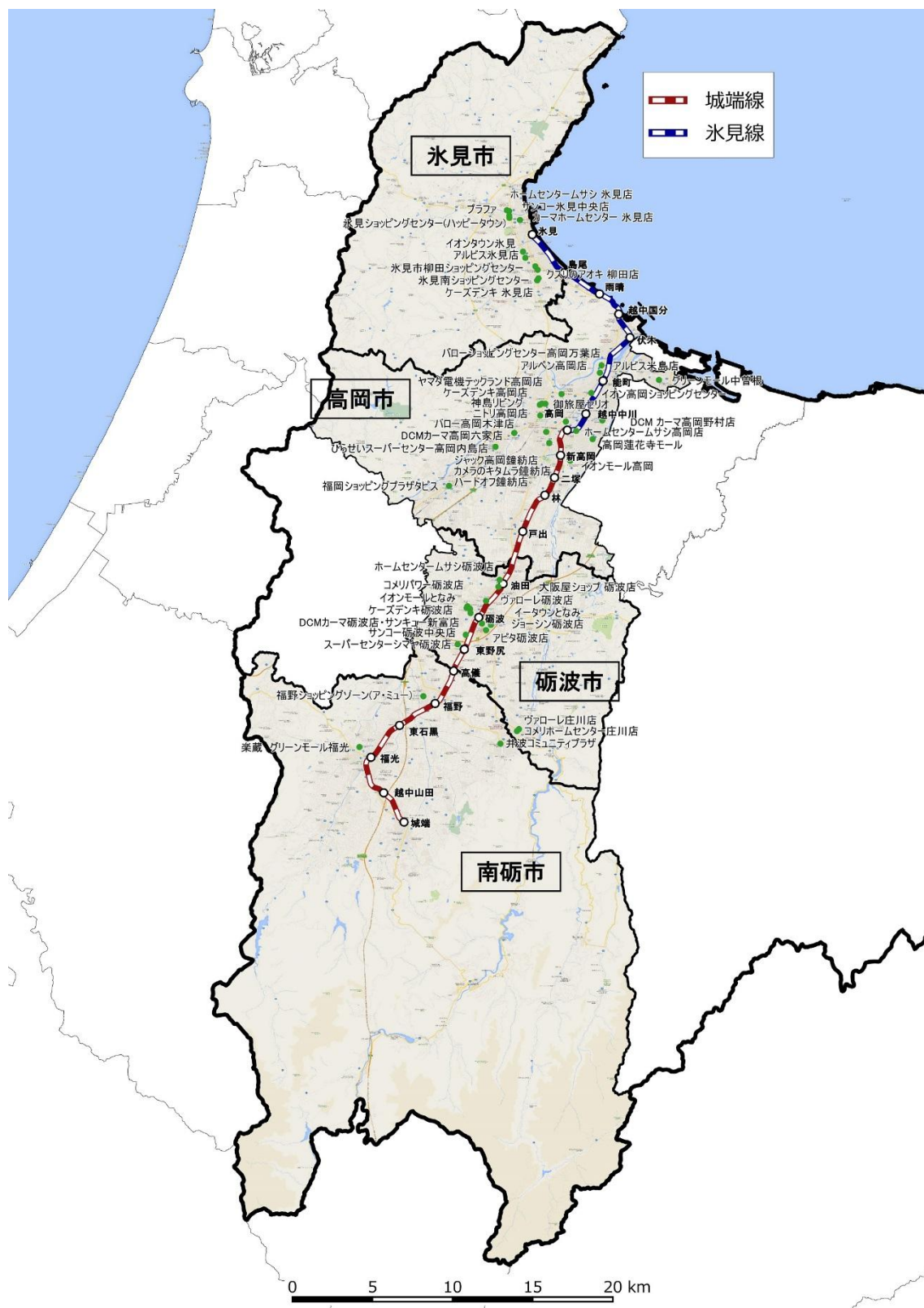


図 大規模小売施設の分布

④ 高等学校

- ・沿線4市に立地する高等学校17校の内、11校が城端線・氷見線各駅から半径2km以内に立地する。

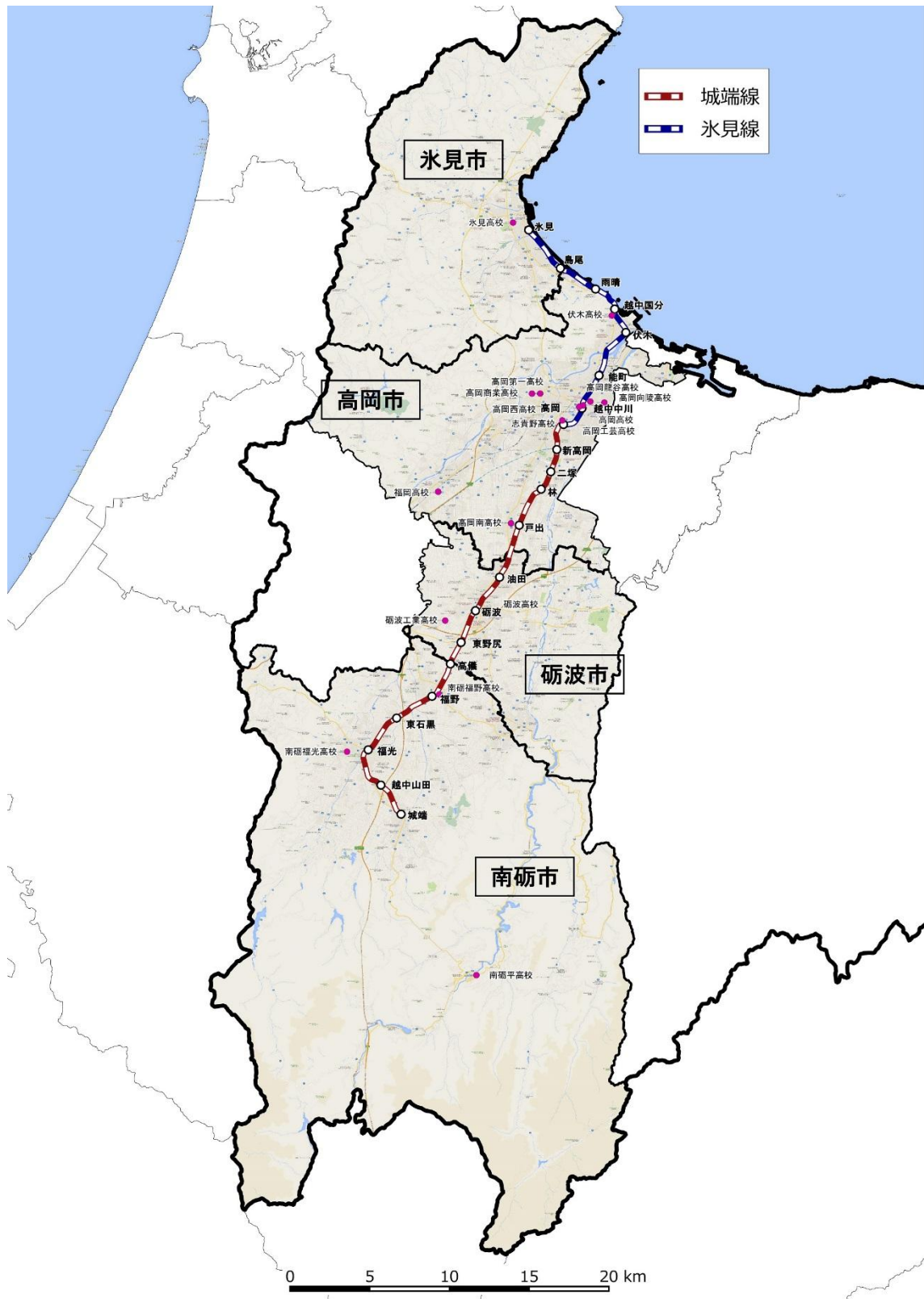


図 高等学校の分布

表 4市に立地する高等学校の一覧

種別	高校名	学科	1学年の定員		最寄り駅	駅徒歩 (km)	駅徒歩 (分)
			学級数	定員数			
県立	氷見高校	普通	4	160	氷見駅	1.2	17
		農業科学・海洋科学	1	40			
		ビジネス	1	40			
		生活福祉	1	40			
県立	伏木高校	国際交流	3	120	越中国分駅	0.7	9
県立	高岡高校	普通	5	200	越中中川駅	0.2	3
		探求科学	2	80			
県立	高岡工芸高校	機械	1	40	越中中川駅	0.2	2
		電子機械	1	40			
		電気	1	40			
		建築	1	40			
		土木環境	1	40			
		工芸	1	30			
		デザイン・絵画	1	40			
私立	高岡龍谷高校	普通	—	195	越中中川駅	1	12
		調理	—	40			
私立	高岡向陵高校	普通	—	195	越中中川駅	1.9	23
県立	高岡西高校	普通	3	120	高岡駅	2	25
私立	高岡第一高校	普通	—	310	高岡駅	3	35
県立	志貴野高校	普通	—	80	高岡駅	0.3	4
		国際教養	—	40			
		情報ビジネス	—	80			
		生活文化	—	40			
県立	高岡商業高校	流通経済	2	80	高岡駅	3	37
		国際経済	1	40			
		会計	1	40			
		情報処理	2	80			
県立	高岡南高校	普通	5	200	戸出駅	0.6	7
県立	福岡高校	普通	3	120	(福岡駅)	—	—
県立	砺波高校	普通	5	200	砺波駅	0.8	10
県立	砺波工業高校	機械	2	80	東野尻駅	1.9	25
		電気	1	40			
		電子	1	40			
県立	南砺福野高校	普通	4	160	福野駅	0.5	6
		農業環境	1	30			
		福祉	1	30			
県立	南砺福光高校	普通	2	80	福光駅	1.5	18
		国際	1	30			
県立	南砺平高校	普通	1	34	—	—	—

※駅徒歩の距離、分数は、駅前から各校正門付近までを图上計測して算出した概算値
 出展：富山県資料等から構成 定員に関しては平成28年度県立高校全日制・定時制課程1学年募集定員より